

中広報

# きたしおばら



## ～新たな初夏の風物詩・ジュンサイ栽培～

7月号  
2015.7.10  
No.400

～今月の主な内容～

P2 400号記念特集 P4 会津米沢街道歴史ウォーク開催 P5 きたしおばらトピックス  
P10 公民館情報 P14 お知らせ P16 今月のみいつけた！・タイからの留学生



the most beautiful  
villages  
in japan

▲ロゴマーク

# 400号記念特集

## 「日本で最も美しい村」連合 「磐梯山ジオパーク」をもう一度考ふる。

村の広報紙も昭和55年8月に第1号が発行されてから、今回で400号を迎えることができました。村民の皆さまの、ご協力、ご愛読に感謝申し上げます。今号では、北塙原村が加盟している「日本で最も美しい村連合」と磐梯山周辺3町村で組織する「磐梯山ジオパーク」について、もう一度理解を深め、全国、そして世界に発信できる村づくりを村民の皆さまと考えています。

### 「日本で最も美しい村」連合とは

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、失つたら一度と取り戻せない農山村の景観や環境・文化を守り、将来にわたって美しい村で有り続けることを目指し、フランスの「最も美しい村運動」を模範として2005（平成17）年に発足しました。村は2010（平成22）年に加盟、現在は全国54の町村・地域が加盟しています。加盟町村には守るべき資源があります。村の登録資源は早稲沢地区の高原野菜畑が広がる景観、旧米澤街道沿いに眠る歴史資源と集落文化です。これらの資源を

守つていくだけでなく、眠つている地域資源を掘り起こし磨き上げる活動を続けていき、村の知名度向上やブランド化による産業の振興につなげていかなければなりません。

連合の活動としては、農山村の保護事業や農山村の現状や加盟町村の魅力を全国に発信するための広報活動があります。フェイスクleftJoinなどのインターネットを使った情報発信やオフィシャルガイドブック、季刊誌の発行などを通して、世論の連合への関心を高めています。

また、学習会や研修会も積極的に実施しており、各地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、加盟町村が連携して取り組んでいます。

今年は5年に1回の  
再審査があります

今年度の連合定期総会は  
北海道美瑛町で

連合加盟町村は5年に1回、厳

6月26～28日の3日間、北海道  
美瑛町で「日本で最も美しい村」

受けなければなりません。連合事務局が審査を通して、農山村の美しい景観や環境、文化が守られているかを確認するのです。村は2010年に加盟しており、本年が再審査の年となります。

審査は、美しい村づくりの3つの戦略「住民の自主的参加」「経済的自立」「世襲財産」に則して行われます。植栽や草刈りなど住民の自主的な美しい村づくりの取り組みである、食・住・エネルギーの地域内の自給を高める努力がされていることなどが、審査のポイントです。

村民と行政が一体となつて美しい村づくりを進めることが重要となります。

期間中は、フランス、ワロン両協会の事務局長を講師に学習会も行われ、出席者が世界で最も美しい村連合会の活動に理解を深めました。また戦略会議も行われ、加盟町村の町村長らがそれのむらづくりの取り組みなどを紹介し、意見を交わしました。

会場周辺では、加盟町村の特産品を販売する美しい村マルシェも開かれ、大勢の買い物客でにぎわいました。

### 「サポーター会員」募集中

NPO法人「日本で最も美しい村」連合では、活動を支えていただくサポーター会員（企業・個人）を募集しています。サポーター会員に興味のある方は、連合のホームページより申請書をダウンロードしていただき、連合事務局に郵送して下さい。



▲連合の総会で議長を務める小椋村長



▲早稲沢地区の高原野菜が広がる景観



▲旧米澤街道沿いに眠る歴史資源



# 磐梯山ジオパーク通信 vol.55

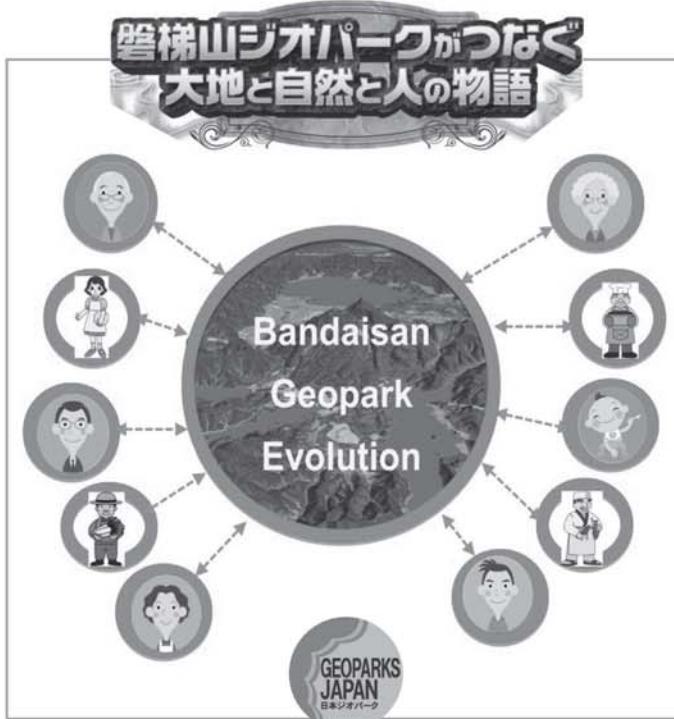


磐梯山にある、未来の宝に会いに行こう

受け継ぐ宝と、超えていく宝。  
終わりなき進化を続けるジオパークへ。

## Bandaisan Geopark Evolution

磐梯山ジオパークの基本理念は、磐梯山とその周辺に存在する大地の遺産を地域住民、行政、調査・研究機関及び民間団体等が協働して保全・保護するとともに、教育への活用、地域の歴史や文化資源を対象とした特徴的なジオツーリズムを通じて、持続可能な地域社会の活性化につなげていくことを目的にしています。



このことから、「磐梯山ジオパーク協議会（猪苗代町・磐梯町・北塩原村）」を平成22年3月4日に設立し、翌年の9月5日に日本ジオパークの認定を受けました。この日は、奇しくも、磐梯朝日国立公園に指定を受けた日と同日でした。現在では、磐梯

山ジオパークの質の向上を図りながら世界ジオパークへの加盟を目指しています。



ジオパークは、猪苗代町と磐梯町と北塩原村でできているから新しいお宝が誕生するみたいだよ♪



自然科学、動植物などの自然から歴史・食文化まで、五感を刺激する“場所”がジオパークの凄いところ！

【News】ジオパークの取り組みが、今年の秋頃にユネスコの正式プログラムになる予定です。名前も世界ジオパークから世界ユネスコジオパークのような呼び名に変わっていくものと思われます。



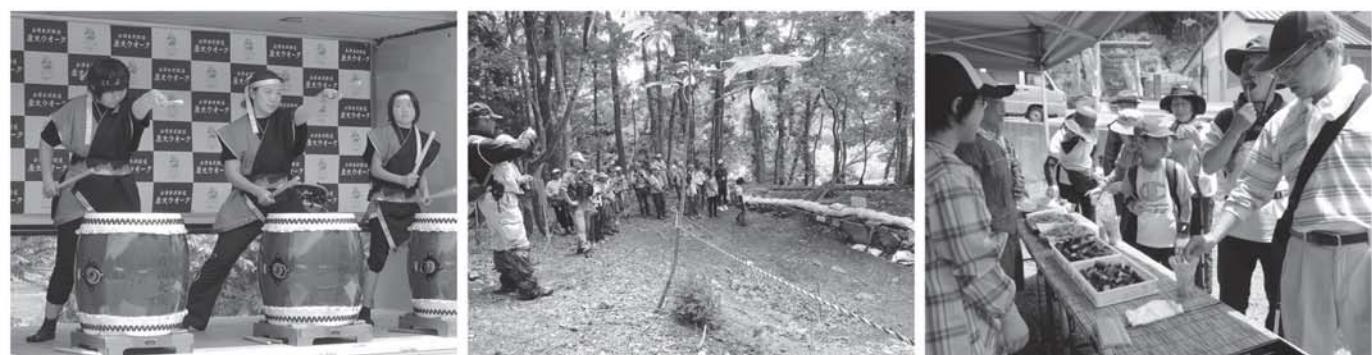
# 2015 会津米沢街道歴史ウォーク 村内各地を巡る! 会津米沢街道歴史ウォーク開催



▲テープカットの様子



▲会津米沢街道を歩く参加者ら



▲会場を盛り上げた裏磐梯火の山太鼓の演奏

▲柏木城跡について説明をうける参加者ら

▲おもてなし隊も登場!



▲甲冑や江戸時代の仮装に扮したスタッフら

▲今年も人気を集めたおもてなしブース

▲一斉にスタートする参加者ら

**趣向凝らしたおもてなしが好評!  
～会津米沢街道歴史ウォーク2015～**

会津米沢街道を核とした歴史

資源を堪能しながら歩く会津米沢街道歴史ウォーク2015大會は6月13日(土)、村活性化センターをスタート・フィニッシュユニットを開催され、県内外から訪れた参加者470人が歴史ロマンを体感しました。

青空が広がる絶好のウォーク日和に恵まれた大会では、会津米沢街道を歩く15キロと10キロのコースと、柏木城跡を中心に行進と歩く5キロコースが設定され、参加者らは思い思いのペース

で楽しみました。

今年も、大久保地区のあやめ会と大塩地区の女性有志によるおもてなしブースがコースの各所に設置され、焼きアスパラや団子、甘酒、ワカサギの唐揚げなどが振る舞われ、参加者の歩く意欲を掻き立てました。

また、ゴール会場では、地元産のおにぎりやそば、弁当などが販売された他、スタッフによる甲冑姿や江戸時代の仮装など趣向を凝らした歓迎が好評をいただきました。

## きたしおばらトピックス

### 6月14日(日) レンゲツツジの咲く頃に ~第18回雄国山開き~

レンゲツツジの咲く雄国山の山開きを開催しました。

過ごしやすい気候のなか、約250人の参加者は、雄子沢登山口から登山を開始し、雄国沼周辺の景色を楽しんだ後、雄国山を越え、ラビスパ裏磐梯へと下山しました。

雄国沼休憩舎では、臨時郵便局が開設され、参加記念で配られたハガキを投函する人もおり、新緑の雄国沼を満喫していました。



▲休憩舎でほっと一息

### 6月18日(木) 7月は”社会を明るくする運動”強調月間 ~社会を明るくする運動メッセージ伝達式~

内閣総理大臣メッセージを渡す大竹支部長▼



“社会を明るくする運動”は犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。それに先立ち、6月18日に、第65回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われました。喜多方地区保護司会夏井隆一会長をはじめ、役員の方々が来庁され、同保護司会北塙原支部大竹栄一支部長より内閣総理大臣からのメッセージと、北塙原村更生保護女性会遠藤千代子会長からは福島県知事からのメッセージが、それぞれ村長へ手渡されました。

昨年までは法務大臣からのメッセージ伝達式でしたが、今年から内閣総理大臣からのメッセージ伝達式になり、本運動開始後初めてとなります。これは2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を控え、これから「世界一安全な国、日本」をつくりあげるための決意の表れです。

現在2つのメッセージは住民課窓口にて掲示しております。



▲県知事メッセージを渡す遠藤会長

### 6月19日(金)～20日(土) 空き家の活用法を学ぶ ~行政区長視察研修~

今年度の研修先は、長野県小川村で、同村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、おやき発祥の地としても有名です。

小川村役場では、伊藤村長から歓迎の挨拶を受け、「日本で最も美しい村」連合加入後の取り組みと題し、主に「空き家バンク」や「農林公社みらい」について説明を聞きました。

「空き家バンク」とは、空き家所有者(家主)と空き家居住希望者をマッチングさせるシステムです。空き家居住希望者が多いこと、改修費用が物件によって異なること、契約成立までの道のりが長いなどさまざまな視点から取り組みについての説明を受けました。

「農林公社みらい」は、厳しい現状にある農家の人に救うべく「JAながの」「長野県森林組合」「小川村」が協同出資し設立されました。主な事業は、荒廃農地の再生、新規就農者等への農地のあっせん、農業技術支援、特産品の開発などを行っているそうです。

参加された各区長は、先進的な事例に対し、熱心に耳を傾けていました。



▲小川村役場にて

## きたしおばらトピックス

### 6月19日(金) 日頃の練習の成果を披露 ~きたしおばら芸能交流会~



▲多くの来場者が集まり、歌や踊りを発表

きたしおばら芸能交流会が村民体育館にて開催されました。参加者は254名。発表者は艶やかな衣装に身を包み、この日のために練習してきた歌や踊りなどを披露しました。また、さくら幼稚園の園児による元気な踊りにも会場は大いに盛り上がりました。この事業は、定期的な練習により介護予防を推進することを目的に実施されました。

### 6月21日(日) 花壇の花植えを行いました! ~うつくしま ふくしま県民運動~

国道459号・県道米沢猪苗代線沿い(裏磐梯地区)の花壇において花植えが行われ、地域の方々約40名が参加しました。今年もたくさんの花で彩られ、きれいな花壇となりました。

この活動は、地域・県・村が協働して道路の清掃、美化活動を行うものです。



▲ペコニアを植栽中の地域の方々

### 6月24日(水) 役場ってどんなところ? ~さくら小2年生村役場訪問~



▲村長さん、ありがとうございました

6月24日(水)さくら小学校の2年生15名が校外学習で小学校から役場までの間のいろいろな場所を探検しながらやってきました。

役場では普段は入れない議場に入り、スカイヒルを建てた経緯などスカイヒルを中心とした素朴な疑問を担当者に投げかけておりました。

その後、村長室に入り村長室から見える会津平野を望し、村長と一緒に記念写真を撮りました。

疑問に思っていたことや役場の普段は入れない場所に入ることが出来た児童たちは目を輝かせ、元気に帰つて行きました。

## きたしおばらトピックス

### 6月27日(土)～29日(月) 沖縄の消防体制を学ぶ～平成27年度村消防団視察研修～

村消防団は遠藤春雄副団長をはじめとする幹部10人で、沖縄県国頭郡東村において視察研修を行いました。1日目の研修の意見交換会では国頭地区消防本部の親川守洋消防長より消防団の成り立ちや組織体制などの概要を説明していただき、消防団宮城丈也副団長からは台風の被害や今までの対応、被害に備えるための訓練についての説明をいただきました。2日目は、実際の訓練や装備品、東分遣所庁舎(こちらの消防分署にあたる)を視察させていただき、器具の使い方などを確認していました。最後に遠藤副団長から暖かく迎えてくれた国頭地区消防団の方々に対し、感謝の言葉を述べました。

東村とは平成14年3月より交流がスタートしており、北塩原村からは小学生が、東村からは中学生がホームステイ等を通じて親交を深めています。

▶意見交換会の様子



▲設備・訓練視察の様子

### 6月29日(月) 新しい体制でのスタート～村選挙管理委員改選～



▲左から渡部氏、穴沢氏、成瀬氏、齋藤氏

6月定例村議会において、村選挙管理委員会委員及び同補充員に次の方々が選ばれました。

改選後初の委員会を6月29日に開催し、委員長に成瀬和夫氏、委員長職務代理者に穴沢傳次氏を選任しました。

#### ◆選挙管理委員会委員

委員長	成瀬 和夫	
委員	穴沢 傳次	齋藤 將
	渡部 一男	

◆同補充員	武藤 豊昭	赤城 忠由
	小椋 政廣	高橋 光秋

### 7月2日(木) 災害時にも有効活用～けん引式車いす補助装置寄附受納式～

車いすに「けん引バー」を装着し、人力車のように前輪を浮かせて引くことができる、けん引式車いす補助装置「JINRIKI QUICK」の寄贈が、大和ハウス工業株式会社渡辺靖彦福島支社長からあり、村長室で受納式を行いました。

車いすは普段、後ろから押して移動するので、坂道や段差などは力を入れなければなりませんが、この補助装置を使うことで、少ない力で動かせることが可能になります。

村では、車いすで来庁された方の災害時における緊急避難のために利用していきたいと考えています。



▲渡辺靖彦支社長(写真左から2人目)へ感謝状を贈呈

# 【厚生労働省委託「会津地域若者サポートステーション】

会津地域若者サポートステーション(会津サポステ)は、若者の就職に向けたサポートとして、個別相談や就職に向けたスキルアップのための各種講座、職場体験等を実施しております。

弊所では、北塩原村にお住まいの方がご利用しやすいよう、月1回程度、ハローワーク喜多方で出張講座・出張相談を実施しております。日程等の詳細につきましては、お問い合わせ先までご連絡ください。会津サポステのホームページからもご確認いただくことができます。

## ◆出張講座・出張相談

- 実施場所:ハローワーク喜多方
- 対象者:15~39歳で、現在無業状態であり、就職を目指す方。
- 参加費:無料
- 内容:講座…パソコンや就職支援、ビジネスマナー等、毎月内容が変更となります。詳しくはお問い合わせ いただければと思います。

個別相談…就職についての不安や悩みについての相談及び会津サポステについてのご説明やご登録の 対応をいたします。

○お問い合わせ先:会津地域若者サポートステーション(運営団体:株式会社みとみ)

TEL:0242-32-0011

(月~金曜日 午前10時~午後7時 土曜日 午前10時~午後4時)

## 条件付合同一括公売のお知らせ

福島県会津地方振興局と北塩原村では、条件付合同一括公売を予定しております。

### ●日時・場所

平成27年7月14日（火）（9時50分までに受付して下さい）

午前10時

北塩原村役場

本庁2階 集会室Ⅰ・Ⅱ

### ●公売財産

不動産（土地、家屋）及び動産（ボイラー設備）

### ●所 在

耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番地360

### ●見積価額

24,033,600円

### ●その他の

完納などの事由により公売中止になる可能性もあります。

### ●問合せ

会津地方振興局県税部 ☎(0242)29-5241

村役場税務課 ☎23-3114



# 平成27年度臨時福祉給付金について

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられ、所得の低い方々の負担を鑑み、昨年度に実施しました「臨時福祉給付金(簡素な給付措置)」を本年度も実施します。対象者の方には7月下旬に、役場から郵送で申請書類を送りますので、届きましたら期間内に手続きをお願いします。

給付対象者	・平成27年度分村民税(均等割)が課税されない方。 ※ご自身を扶養している方が課税されている場合、生活保護制度の被保護者となっている場合は対象外です。
給付額	・対象者1人につき6,000円。 ※6月より実施している「子育て世帯臨時特例給付金」の対象者についても、該当であれば本給付金を受取れます。
受付期間	平成27年8月1日から10月31日
提出方法	①窓口に直接申請。 (提出場所については役場本庁・裏磐梯合同庁舎・桧原出張所) ②郵送による申請。 (返信用の封筒を申請書類と同封して送ります。)
支給方法	①口座振込 ②現金支給 ※①の受取が難しい場合に限ります。 (支給場所については役場本庁・裏磐梯合同庁舎・桧原出張所) ※10月以降に支給開始予定。



(問い合わせ  
住民課 生活班  
☎23-3113)



## ● 給付金に係る【振り込め詐欺】や【個人情報の詐取】にご注意ください!!

- 村や厚生労働省等がATM(銀行・コンビニ等の現金自動支払機)の操作をお願いすることや、上記給付金を支給するために、手数料等の振込を求めるることは絶対にありません。
- 村民の皆様の世帯構成や銀行の口座番号などの個人情報を電話で照会することは、絶対にありません。

厚生労働省  
公認キャラクター  
カクニンジャ

## 平成27年度自衛官採用試験日程

採用種目	資格	受付期間	試験	日時	試験会場	備考
自衛官候補生 (男子)	18歳~27歳未満	8月1日~9月8日	筆記試験	9月19日(土)午後	会津大学	筆記試験、 口述試験・身体検査の 両方を受験します。
			口述試験・身体検査	9月26(土)~29日(火) *指定する1日	郡山駐屯地	
自衛官候補生 (女子)	18歳~27歳未満	8月1日~9月8日	筆記試験 口述試験・身体検査	9月25日(金)	郡山駐屯地	
一般曹候補生	18歳~27歳未満	8月1日~9月8日	1次試験(筆記)	9月19日(土)午前	会津大学	1次試験合格者の 2次試験 (口述試験・身体検査) については、 後日通知します。
			2次試験 (口述試験・身体検査)	10月8(木)~11日(日) *指定する1日	郡山駐屯地	
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満	8月1日~9月8日	1次試験(筆記)	9月23日(水)	郡山市 労働福祉会館	

試験日程は上記のようになっております。尚、詳しいことは、担当の広報官にお尋ねください(受験料はすべて無料です)

### 【問い合わせ】

自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪57-1  
Tel 0242-27-6724

問合せ  
**公民館 ☎23-5236**

## やってみました!! 編みカゴづくり体験

5月14日・28日と6月4日の3回にわたり、公民館成人セミナー事業として、編みカゴづくり教室が行われました。第1回は紙バンドで網代編みのカゴ作りを学びました。



▲講師の五十嵐先生



▲体験の様子(第1回)



▲体験の様子(第3回)

第2回は国道459号沿いでマタタビという植物を刈り取ったあと、生涯学習センターで「裂き」「削り」を行って編み組み細工の材料となる「ヒゴ」を作る作業を体験しました。慣れない作業であるとともに時間も労力もかかり、先人たちの劳苦がしのばれました。

第3回は、つくった「ヒゴ」で六目編みのカゴをつくりました。小さなカゴながら初めての編み方で、完成するまで一苦労でした。手間と時間をかけた作品を大切にしたい思いや、新たな作品にチャレンジしたくなったという声があがっていました。お世話になった五十嵐怜先生、ありがとうございました。

## 地区住民同士の交流! ~桧原地区スポーツフェスティバル~



▲ナイスショット!

今年で19回目となった桧原地区スポーツフェスティバルは6月7日(日)、明大セミナーハウスグラウンドを会場に開催されました。

晴天の中、グラウンドゴルフとディスクゴルフ合わせて8ホールのコースで個人戦と団体戦で優勝を目指し、老若男女の参加者51名は、和気あいあいとプレーしました。

一般の部では渡部和彦さん(早稲沢)が初優勝を飾りました。

大会終了後は桧原集会所で懇親会が開かれ、参加者は各種表彰を受け喜ぶとともに、バーベキューを通して世代を越えた交流・親睦が図られ、大いに盛り上がりました。

## 旧街道を核とした交流促進~会津米沢街道歴史交流会~

北塩原村と山形県米沢市を結ぶ会津米沢街道沿いに眠る歴史や文化にまつわる知識の習得と、県境を越えた地域住民の交流人口の拡大を図ることを目的とした「会津米沢街道歴史交流会」は6月28日(日)、両地域から39人が集まり、交流を深めました。

これに先立ち、参加者は、村の会津米沢街道沿いにある松並木や一里塚などの史跡に触れ、村の歴史や当時の面影に触れ教養を深めました。

大塩裏磐梯温泉米澤屋で開催された交流会では、両地域の住民が親睦を深め、今後の末永い交流を誓いました。



▲八丁壇一里塚に於いて

## 平成27年度 裏磐梯運動会 ~「きずな」心を一つに勝利を目指せ!~

裏磐梯運動会は6月14日(日)、裏磐梯小学校グラウンドにおいて開催されました。

大きな絵で描かれた子どもの歯を幼稚園親子が持った歯ブラシでバイキンを退治する「親子で歯みがき ピッカピカッ!」、小学生による「全校ダンス」や「紅白対抗リレー」、中学生による「障害物競走」など趣向を凝らした競技が多数行われ、子どもたちと地域住民の声援が響き渡りました。

また、地区対抗種目の「綱引き」では、桧原・金山・早稲沢チームの連覇をさせまいと、「教員チーム」が立ち上がり、会場は大いに盛り上りました。

さらに今年は幼稚園児と中学生による「リレー☆最後まで走り抜け!!」があり、年少者達が精一杯走る姿を見て、子どもの成長の変化を改めて感じるとともに、会場からは温かい拍手が送られました。



▲親子競技



▲「紅白対抗全校リレー」



▲地区対抗綱引き



▲「リレー☆最後まで走り抜け!!」

「親子で歯みがき ピッカピカッ!」  
~全児童でリンクを繋ぎ「きずな」を結びました~  
~教員チームも頑張りました!~  
~幼稚園児も懸命に走りました!~

# 村公民館事業のお知らせ



## 「学校の応援団」事業 さくら小学校"自然体験教室五色沼を歩く"



▲ガイドさんの話をよく聞いて

6月17日(水)さくら小学校の自然体験教室が行われ、1・2年生が五色沼自然探勝路を歩きました。ガイドさんから噴火の事や植物の名前などたくさん教えてもらいました。また、裏磐梯ビジターセンターの周辺にモリアオガエルの卵塊やクロサンショウウオの幼生など実際に生息しているのを紹介いただきました。裏磐梯エコツーリズム協会、きびたき山の会のサポートを頂きました。ありがとうございました。

7月は3年生の小野川自然探勝路&ウチダザリガニ駆除活動、4年生の雄国沼での自然体験教室が行われます。

## 親子で音楽の楽しさを体験 ～幼児教育支援事業～

6月20日(土)芙蓉保育園において音楽鑑賞教室『オカリナコンサート』が保育参観日に合わせて開催され、保護者と一般参加者約30人が参加しました。

講師には、音楽パフォーマーの細川佳那枝さんをお招きし、『大きな栗の木の下』など全9曲を披露してくださいました。

曲の合間に細川さんによるマジックも披露され、子ども達は何も入っていない紙袋の中から箱が出てきたことや、本の中から魔法の杖が出てきたことに驚いていました。

また、途中から細川さんの知人で、普段はハンガリー等でオペラの指揮をされている酒井たけやさんがドラえもんやアナと雪の女王の衣装を着てサプライズ登場し、会場を沸かせました。

参加者は、オカリナの音色に聞き入るとともに、曲に合わせて手拍子を打ったり、プレゼントされた魔法の杖を振るなど音楽と楽しくふれ合っていたようでした。



▲親子で音楽を楽しみました

## ミクロネシア諸島自然体験交流活動“五色沼ホームステイ”



▲五色沼でホストファミリーと共に

6月20日(土)～21日(日)ミクロネシア諸島(チューク州・パラオ共和国)から子どもたち30人が裏磐梯の五色沼を訪れ、ホストファミリーと共に探勝路を歩きました。小学5・6年生が対象で、北塩原村・猪苗代町・磐梯町でホストファミリーとして受け入れました。当村では、酒井さんファミリーが受け入れ、貴重な体験が出来たそうです。この事業は、3年間の継続事業なので、ぜひ、皆さんも南の島の子どもたちと福島・会津を繋ぐ懸け橋になってみませんか?

## 耶麻地方のスポーツ推進委員協議会で漕艇を学ぶ

平成27年度耶麻地方スポーツ推進委員協議会は6月28日(日)、福島県営萩野漕艇場を会場に開催され、喜多方市・西会津町・北塩原村のスポーツ推進委員22名がスポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

総会後に行われた実技講習会では、NPO法人會津磴漕会の方を講師に、県内唯一の競艇場である同会場において漕艇を学びました。



▲漕艇を学ぶスポーツ推進委員ら

### 今後予定している公民館事業のお知らせ

お気軽に村公民館までご連絡ください。

#### ①スポーツ栄養学講座

- 日程：平成27年7月25日(土)
- 場所：北塩原村コミュニティセンターホール
- ②西会津町・北塩原村ビーチボールバレー交流大会
- 日程：平成27年7月26日(日)
- 場所：北塩原村民体育館
- ③平成27年度北塩原村歴史講演会
- 『戦国時代の終焉 伊達政宗の会津侵攻』
- 日程：平成27年7月26日(日)
- 場所：北塩原村生涯学習センター

#### ④子ども体験活動事業（チャレンジスクール）

- さわやかな高原で♪ 北塩原村キャンプ!

- 日程：平成27年7月29日(水)～30日(木)

- 場所：松原キャンプ場

#### ⑤ふるさと再発見事業

- (村特産品じゅんさい摘み取り体験)

- 日程：平成27年8月2日(日)

- 場所：曾原地内

#### ⑥成人体験交流事業（成人セミナー）

- (伝統工芸体験 家族でつくる"虫カゴ"つくり)

- 日程：8月(予定)

- 場所：生涯学習センター

# 健康通信

申込・問い合わせ  
保健センター ☎28-3733

## 【福島県がん検診推進員】 研修の受講生募集！

本村では、昨年度から、福島県が取り組んでいる「がん検診推進員の研修」を行っています。

今年度も次の日程で開催しますので、お気軽に参加してください。

### <活動内容>

- 1 家族や大切な人への受診の働きかけ(がん検診のみではなく、他の健康診査も含む)
- 2 隣近所の集まりなどでの受診のおすすめ
- 3 福島県より配布されるリーフレットなどを友人などに配布
- 4 がんを含む生活習慣病を予防するための食生活や運動習慣等の情報提供 など

<対象者>村民どなたでも参加できます。

(昨年度に参加された方も参加できます。)

<研修日時>7月23日(木)13:30～15:00

<場所>保健センター

<受講料>無料(活動期間中も料金はかかりません。)

<任期>平成27年度末まで(ただし辞退の申し出がない場合は次年度も続きます。)

<申し込み〆切>7月17日(金)

保健センターへ電話でご連絡ください。

## 受動喫煙と周りへの影響について

本人は喫煙していないなくても身の周りのたばこの煙を吸わされてしまうことを受動喫煙と言います。

タバコから立ち上る煙や喫煙者が吐き出す煙にもニコチンやタールなどの多くの有害物質が含まれ、それにより健康へ影響を及ぼすと言われております。

### [受動喫煙による健康影響※]

○成人に起こりうる疾患

- ・心疾患(1.25-1.0倍)
- ・肺がん(1.20-1.30倍)

○乳幼児、児童に起こりうる疾患

- ・呼吸器疾患(咳・痰)
- ・肺の発達の遅れ
- ・乳児突然死症候群(SIDS)
- ・急性呼吸器感染症
- ・耳疾患(中耳炎など)
- ・より頻回でより重症度の高い喘息発作  
(※厚生労働省 e-ヘルスネットより)



### 家庭での不十分な受動喫煙対策

①台所などの換気扇の下での喫煙

換気扇を回しながら吸っても、煙の一部は室内に残りますから、受動喫煙の防止にはなりません。

②空気清浄機を置いての喫煙

空気清浄機には、有害物質の除去する効果はありません。

## 健康コラム～血圧まめ知識part3 「高血圧はなぜ怖い？」

血圧が高い状態が続くと、血管の内壁に負担がかかり、傷つけて傷めることになります。これにより、血管の弾力性がなくなり、動脈硬化が進み、血管が硬くなります。こうなると、血液を送り出すために、より圧力が必要となりさらに状態は悪化していきます。

このように、高血圧と動脈硬化はお互いに作用しあって血管に悪影響を与えます。最悪の場合は、血管がつまたり破れたりします。

- ・脳の血管→脳卒中
- ・心臓の血管→心筋梗塞
- ・腎臓の血管→腎不全

また、何の自覚症状もないこともあるため、危険な状態に気付かないこともあります。

次回は「どんな時に血圧が上昇するの？」について掲載します。



## 南東北裏磐梯診療所からのお知らせ

### ○問い合わせ

南東北裏磐梯診療所 ☎32-2009

## 総合南東北病院へ受診したい方は 裏磐梯診療所にご相談下さい。

症状や検査結果に応じて、患者様のご希望に応じて本院の総合南東北病院へご紹介いたします。一度裏磐梯診療所で診察を受けてからのご紹介となります。まずは、お電話で気軽にご相談下さい。また、裏磐梯診療所には脳神経外科・神経内科・心臓血管外科・外科・泌尿器科・麻酔科の医師も来てています。

### 当院でできる検査項目

エックス線撮影(単純)、心電図、血液検査(貧血、脂質機能、肝臓機能、他)、便潜血検査、尿検査(蛋白、糖)、視力検査、色盲検査、喀痰検査、身長、体重、腹囲、BMI、血圧などです。



## 戦没者等のご遺族の皆さまへ 第10回特別弔慰金が支給されます

### ○特別弔慰金の主旨

戦後70終年に当たり、今日我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表すため、戦没等のご遺族に特別弔慰金(記名国債)を支給するものです。

第十回特別弔慰金については、ご遺族に一層の弔慰に意を表すため、償還額を年5万円に増額するとともに、5年ごとに国債を交付することとしています。

### ○支給対象者

戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料等」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母等)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給されます。

1. 平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

2. 戦没者等の子

3. 戦没者等の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

※戦没者の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4. 上記1から上記3以外の戦没者等の三親等以内の親族(甥、姪等)

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

### ○支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債

### ○請求期間

平成27年4月1日から平成30年4月2日

※請求期間を過ぎると第10回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。

### ○請求窓口

住民課

※なお、平成32年4月1日を基準日とする特別弔慰金については、平成32年4月1日から請求受付を開始する予定です。

請求手続など、詳しくは住民課生活班(☎23-3113)までお問い合わせください。

## 自然コラム ～木登り～

裏磐梯ビジターセンター通信

裏磐梯ビジターセンター ☎32-2850

北塩原村には、大きな樹がたくさんあります。日本人は、昔から樹と隣り合はずの生活をしてきました。日常で使う食器や住居、薪やかんじきなどに至るまで、私たちの生活には樹が欠かせません。また、樹と私たちを繋ぐもので、「樹と遊ぶ」という事も忘れてはいけません。そして、そこから学べることは底が知れません。

代表的な遊びの「木登り」はどうでしょう。自然遊び全般に言える事ですが、「遊ぶ物の特徴をよく理解する」事はとても大切です。枝が横にワ～と広がっている広葉樹は、手足をかける場所が多いので登りやすい。手足をかけやすい枝の少ないスギやヒノキのような樹は登りにくいが、ヤマブドウなどの蔓が絡まっていると、それを使って登ることもできる。など条件は様々です。工夫次第で色々な楽しみ方が見出せます。

しかし、楽しさとは反対に危険が伴うことを忘れてはいけません。カキやシロヤナギのような樹は、とても登りやすい形をしていますが、とても折れやすいので、ひょいっと登ってしまうのは怪我の元です。最近では、ロープやカラビナなどを使って木登りをするアクティビティーもあるようです。安全を考えると、そのような遊び方もよいのではないか?外遊びはとても楽しいのですが、楽しさの隣には危険もあります。樹の事をよく理解して楽しむようにしましょう。









▲佐藤豊治さん（写真右）のジュンサイ畠で摘み体験

かつて、ジュンサイは高級食材として食されてきましたが、近年は絶滅が危ぶまれています。日本では、秋田県が有名ですが、本村産は裏磐梯の標高を生かした栽培で、寒天質の多い高品質なジュンサイが生産されています。

佐藤豊治さん（曾原）のジュンサイ畠には、沼いっぱいに浮葉が生い茂り、6月中旬から、1回目の収穫が行われています。

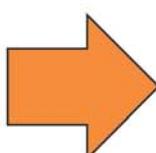
佐藤さんは、「ジュンサイは2回収穫できるので、2回目はお盆前ぐらい。高齢化で収穫する人もいないうが、体験事業などで興味を持ってくれる人がでてくれれば嬉しい」と話していました。

小舟に乗って、水の中から収穫するジュンサイ摘み。ぜひ、一度体験してみてはいかがでしょうか。

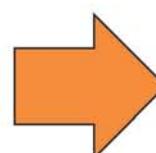
## 〈ジュンサイの収穫まで〉



▲日中に開花し、夕方には水没する花



▲初夏からお盆にかけてが収穫シーズン



▲低カロリーな健康食品として注目を集めています



## タイからの留学生が村内で農業を学ぶ!!

タイのタマサート大学で農業を専攻する学生が、6月17日(水)から8月5日(水)までの50日間、村内の岩田多吉さん（樟）と遠藤栄一さん（早稻沢）の家にファームステイしています。同大と姉妹校となっている東京農業大学の紹介で来日した5人は、日本農業を肌で感じながら学び、村内の国際交流にもなっています。

いずれも大学3年生で、田んぼの草刈りや、畠での苗植え、ビニールハウス内での作業など、真面目に取り組んでいます。

受け入れている岩田さん、遠藤さんは口を揃えて、「彼らは、何事にも一生懸命で、こちらもとても助かっている。帰る日に、また来たいと思ってもらわねば」と話していました。言葉の壁をジェスチャーを交えた農業という共通の話題で乗り切っています。村内で、彼らを見掛けた時は、気軽に声を掛けてみてください。



▲日本農業を体感しながら学ぶ5人

復活を目指すジュンサイ栽培  
今  
月  
の  
み  
い  
つ  
け  
た  
!